

☆登山とハイキングの  
普及と向上に全力をあげよう  
☆力をあわせ何としても  
300名会員を回復しよう

# ろうさんKAGAWA 県連盟だより

香川県勤労者山岳連盟  
No.57-06 2023. 8. 3  
高松市松縄町1005-4  
電話：087-865-7521

## 八ヶ岳縦走(テント泊) 西岳～権現岳～赤岳～硫黄岳

### 善通寺山の会

■日程 2023年7月14日(金)～17日(月)

■参加者 5名 CL:三野 +4名

【7月15日(土)】

善通寺市民プール7/14 20:00 →7/5 5:00立場大橋5:10出発…5:20立場川キャンプ場…10:00西岳…11:20青年小屋…12:30網笠山…13:30小屋

14日金曜日夜に善通寺を出発し、翌日早朝には立場橋で我々三野グループは一足先に下車して、本日の宿泊地青年小屋を目指しました。

立場川キャンプ場から上がって行くと高級？別荘地があり、それらを横目に見ながら進みました。途中小雨が降ってきたことや、登山道が笹で覆われていた事もあり、服装をレインコートに着替えました。西岳山頂近くはそこそこの急登で足場は少し不安定な感じでした。ただ



東南にはうっすらでしたが富士山も拝むことが出来ました。泊地の

青年小屋には予定より早く到着し、受付を済ませ網笠山までピストンしてきました。天気も怪しかったため、食事はテント内で調理して美味しく頂きました。そして翌日のロング縦走に備え早々に床につきました。

【7月16日(日)】

3:30起床5:00出発…6:30権現岳…8:00キレット小屋…10:20赤岳…11:10地藏の頭…12:15三叉峰…13:12硫黄岳山荘…13:40硫黄岳…15:40赤岳鉦

泉…17:20やまのこ村

今日も朝から天気が安定しません。強風の中、権現岳を通過して赤岳へ。キレット小屋から赤岳へ



の登りは急登・岩場という事もあり、かなりこたえました。また赤岳からの下りは、登りの方も多くすれ違いに少々ストレスも感じながら下りました。その後、大同心のクライミングや硫黄岳山荘でのヘリの荷下ろしを見ながら硫黄岳へ。そうこうしていると、さっきまで雲に隠れていた赤岳も顔をだし、これまた絶景を眺めることが出来ました。これもご褒美でしょうか……。

ここからは下るだけなので疲れはないなど一安心しましたが、いやいや下りも油断大敵と、気を引き締めながら下りました。赤岳鉦泉に予定通り15:30くらいに到着しましたが、テント場はすでに満員御礼。そこでやまのこ荘まで下り、テントを設営し、天気もよかったので外での食事。ゆっくりとした時間を過ごしました。

【7月17日(月)】

5:15起床6:45出発…7:35美濃戸口→16:35善通寺市民プール着

今日はバス乗り場の美濃戸口までなので朝はゆっくり出来ました。下り途中で平村さんチームと



合流し、無事美濃戸口へ到着。当初の予定よりも早く帰宅することが出来き、明るいうちに片付けも済ます事ができました。

今回、なかなか体験する事のないロング&テント泊山行に参加させて頂き、とてもいい経験になりました。【記：あけぼの 原】

## 岩場での搬出訓練 基礎技術習得

- 日程：2022年6月26日（日）
- 場所：大屋富ゲレンデ
- 時間：8：00～16：00
- 目的：岩場で搬出を行うための基礎技術の習得。搬出・搬送技術の習得。・1.3.4.
- 参加：高松⑥・山歩①・五色①・しわく⑩  
善通寺③・観あ②+愛媛⑥ 計29名

### 救助隊合同トレーニングに参加して 丸亀しわく山の会 前田 隆

6月25日(日)大屋富のゲレンデで、「岩場で搬出を行うための基礎技術の習得」のための救助隊訓練があり、昨年引き続き沢山の参加があり、力の入った講習会になりました。



早朝8時、オレンジヒュッテ前で参加者の自己紹介後、佐藤隊長から・・・

■「本日の合同トレーニングの趣旨について」の発言がありました。

☆ 救助活動で使う技術は、クライミングで使う知識と技術を確実に覚えることが重要です。理論が分かれば理解できます。救助活動でミ

スは許されません。結んだロープが正しいか相互に確認します。最近、クライマーのグラウンドホール事故が増えています。基本が出来ていないからです。支点構築がまずかったりすると事故が発生します。

■『大屋富岩場の終了支点の使い方・注意点』  
岩場ゲレンデ整備委員会/加藤高志氏  
正しい使い方を教わり、いろいろやり方には「理由があるんだ」と改めて感じました。

◎この後は、①初心者組14人(良い子の広場)と②クライミング経験組15人(ヒュッテ前岩場)に分かれて講習しました。ここでは②組の報告をします。

■午前中、佐藤隊長より「最近の知見データ情報」と題して、①ソウンスリングの結び目による強度の低下について、オーバーハンドノットで公称値 ナイロン-45%、ダイニーマで-54%低下するが、スリングが古くなると、スリングの結び目試験では、500～800Nで破断するので注意が必要。②ビレイデバイスで、アシストブレーキングタイプ(グリグリ)を使用した場合、ロープが5～10cmしか流れないためチューブタイプ(ATC)に比べて、支点にかかる衝撃力が1.6～1.9倍程度大きくなる。墜落者の衝撃荷重も大きくなります。③アンカー構築について、基本は、強固・多重性・均等の三要素を満たすこと。240cmのソウンスリングを二重にしてクワッドアンカーを支点に設置し、自己ビレイと支点として複数使用できるのがメリット。強度はダイニーマで20KN。ケブラーは結び目での強度低下が著しいため使用に際しては注意が必要。

■基礎知識について

①クライミングロープの性能、②ソウンスリングの素材の特徴、③補助ロープの強度、④アルミカラビナの使用上の注意、⑤残置支点の強度など詳しく説明して頂きました。

・UIAA基準による最大衝撃荷重は、シング

ルロープで12KN未満、ダブルロープで8KN未満と設定されている。人間の限界衝撃荷重が12KNとされています。これが基準になり、ロープやカラビナの強度が決められているようです。



◎救助活動では、ソウンスリングを使用します。ナイロン、ケブラー、ダイニーマは、素材により長所・短所があるのでその特徴を知って使用する。

◎現在使われているアルミカラビナは、鉄製と違い衝撃に弱く落下させたカラビナは使用厳禁。2点荷重の原則を知っておくこと。

■基礎技術について

①レスキューで使用するロープの結び方、②支点の作成、③確保技術、④懸垂下降、⑤搬出技術について、参加者の質問や要望に応じて危険個所のロープの張り方、ビレイロープの基本動作、確保器使用中のロープの仮固定(ミュールノット)、クライミング確保からの離脱方法など実演を挟みながら詳しく説明がありました。また、要所々々で参加者自ら実地で試みて基礎技術を学びました。

15:30①初級者組が終了しヒュッテに戻ったところで、②経験組の講習も終了しました。

■9月の合同トレーニングについて

○9月24日(日) (大屋富) ○「岩登り中のコンパニオンレスキューと搬出訓練」

皇子溪谷(赤星山)沢登り研修会

主管:愛媛県連/香川県連

8月19日(土)

20日(日)

10時 高速高架下集合  
準備と研修会

08時 集合高架下  
準備と研修会

12時 入溪

10時半 入溪

14時 遡行2km終了

15時半 ロープワーク研修

14時半 遡行2km終了

18時 テント設営/夕食

16時 解散

県連理事会⑤の報告

- 日時 2023年7月19日(金) 19時~21時
- 場所 善通寺市民会館
- 出席 12/14名

《300会員を早期に回復しよう!》

2023.7

	2017.3-6年増減	57総会員	3-7月増減	7月入会者	7月会員数	昨同月比	目標
高松労山	+19-14	29	+5-6	男48紹介/女42HP	28	+6	30
高松H	+5-12	4			4	0	6
山歩会	+44-25	37	+5-3		39	+5	40
五色の峰	+12-10	9			9	-1	10
しわく	+47-30	64	+4-7	男59紹介	61	+1	62
善通寺	+42-45	57	+5-2		59	0	60
あけぼの	+33-19	44	+2-4	男44学校	42	0	47
観音寺H	+6-12	21	-1		20	-1	22
県合計	225-213	265	21-24	+4-1	262	+10	300
坂出H	15-44	0					

☆7月度は+4-1=262名。高松②・しわく①・観あ①の入会で、昨年同月比で+10名になっている。



◆事故やヒヤリハットの報告

【善通寺山の会】 6/24土10時

72歳の男性会 員が我拝師山の岩場登山道で2㍎ほど滑落。頸椎損傷で動けず。同行者の要請でヘリで救助され善通寺病院へ。重傷。

◆7/7讃岐山脈縦走実行委員会

県連HPに地図化したデータを掲載。補強意見を集約して完成させる。次回は10/06。

◆4年ぶりの本格的な夏山山行

☆山歩会 7/14~17 白馬岳10名

☆しわく 7/14~17 立山バス登山20名(3コース)

☆善通寺 7/14~17 八ヶ岳集中 20名(3コース)

お盆 立山~薬師岳縦走

☆高松 お盆 涸沢 劔岳

☆観あ 8/3~6 北穂~奥穂/焼岳~西穂

9/4~7 仙丈岳と甲斐駒

☆観ハク 8/4~7 蝶ヶ岳

◆「救助隊のあり方」の論議を継続しています

各会の山行一覽とこれからの山行予定 ◎例会山行 ☆個人山行

Table with columns for meeting name, dates, mountain names, participants, and scheduled activities for August and September.



県連八月行事 ☆12日(土) 女性交流登山実行委① 19時半 しわく ☆16日(水) 県連理事会⑥ 19時半 県連事務所 ☆18日(水) メディア委員会 19時半 県連事務所 ☆23日(水) 自然保護委員会③ 19時半 善通寺

